

製品の高付加価値化には
高度な実践技術を有する人材が必要です。

能力開発セミナー を活用して
「ものづくりのプロ」を育成しませんか。

生産技術分野 2023年7・8月開催 6コース

企業（社員）のニーズ

機械設計・機械製図を
学びたい

解析/評価・
測定/検査技術を学びたい

機械保全を学びたい

OJT指導技法を学びたい

能力開発セミナーの種類

- ・実践機械製図（N01）
- ・3次元CADを活用したアセンブリ技術（N04）

- ・設計者CAEを活用した構造解析（N06）
- ・精密測定技術（N07）

- ・生産現場の保全技術（N13）

- ・技能継承と生産性向上のための
OJT指導者育成（N16）

公的助成金、補助金の利用が可能な場合があります。詳細は所轄の機関にご相談ください。

- 「人材開発支援助成金（特定訓練コース）」厚生労働省・都道府県労働局
- 「千葉市中小企業人材育成研修費補助金」千葉市役所 雇用推進課

【厚生労働省所管】千葉職業能力開発短期大学校 成田キャンパス

〒286-0045 千葉県成田市並木町221-20

TEL:0476-22-4351 FAX:0476-22-4347

URL: <https://www3.jeed.go.jp/chiba/college/company/semina/>



実践機械製図

申込締切
8月14日

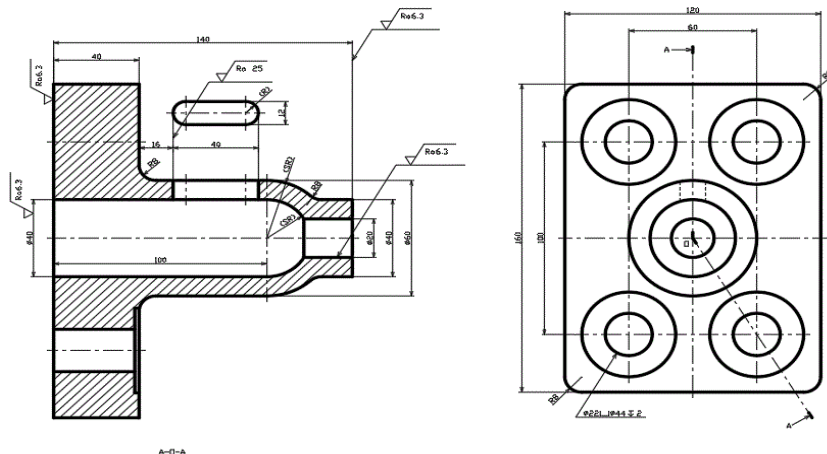
コース番号	日程	場所	定員	受講料
N01	2023年8月28日(月)、29日(火)、30日(水)	成田キャンパス	15 名	10,000 円(税込)
日数	3日間(18時間)			
時間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	2次元CAD (AutoCAD)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

設計及び製造現場で求められる、機械製図の部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。

主な内容

- 製図一般
- 機械製図上の留意点
- 実践的機械図面の書き方
- 部品図の課題実習



3次元CADを活用したアセンブリ技術

申込締切
6月19日

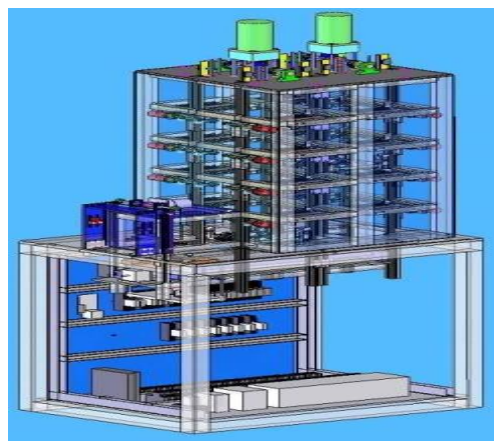
コース番号	日程	場所	定員	受講料
N04	2023年7月3日(月)、4日(火)	成田キャンパス	15 名	16,000 円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	3次元CAD (SolidWorks)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用する検証実習を通して、設計検討項目の検証方法を習得します。

主な内容

- 設計とは
 - アセンブリ3ヶ条
 - アセンブリ機能を活用した検証方法
 - まとめ
- 「3次元CADを活用したソリッドモデリング技術」または「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術」のどちらかを受講後の受講をお勧めいたします。
- 基本操作の習得を主体とした内容ではありませんので、あらかじめご了承ください。



設計者 C A E を活用した構造解析

申込締切
7月24日

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N06	2023年8月7日(月)、8日(火)、9日(水)	成田キャンパス	15 名	21,500 円(税込)
日数	3日間(18時間)			
時間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	3次元CAD (SolidWorks)			
持参品他	筆記用具			

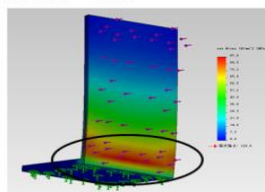
講習内容

モデル化、境界条件設定、メッシュ分割による解析実習などを通して、構造設計における線形構造解析の活用、結果の評価法等を習得します。

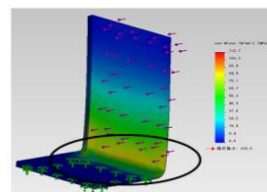
主な内容

- 設計と構造解析概論
- 有限要素法メッシュと精度
- 各種物理現象
- 課題演習
- 課題演習
- 解析事例及びモデリング、評価

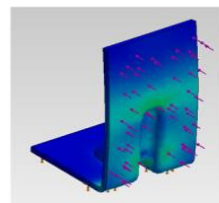
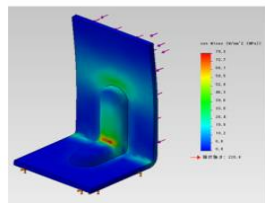
応力集中の改善



【1】応力集中が発生 最大応力: 87.8MPa



【2】Rの追加 応力集中の緩和 最大応力: 112.7MPa

【3】穴の追加 最大応力: 79.3MPa
穴を追加することで、応力値を下げる
ことができる。

機械・精密測定/機械検査

精密測定技術

申込締切
7月18日

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N07	2023年8月1日(火)、2日(水)	成田キャンパス	6 名	11,500 円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	測定器 (ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ)、被測定物			
持参品他	筆記用具、作業服(上)			

講習内容

機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化を目指して、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的測定技能・技術を習得します。

主な内容

- 測定・検査の概論
- 各種測定器の原理と測定方法
- 測定誤差について
- 間接測定



生産現場の機械保全技術

申込締切
7月25日

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N13	2023年8月8日(火)、9日(水)	成田キャンパス	10名	8,500円(税込)

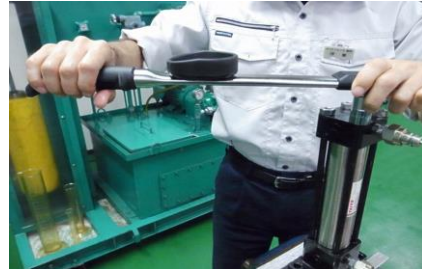
日数	2日間(12時間)
時間	9:30~16:20(6時間/日)
使用機器	作業工具一式、油圧装置一式、振動測定装置一式、回転装置一式
持参品他	筆記用具、作業服(上)、作業帽

講習内容

生産機械に用いられる、伝動装置、油圧機器に関して、未然にトラブルを防ぐための日常点検に不可欠な、機械の正常な状態の把握、早期に異常を発見するための定量的な評価方法を習得します。

主な内容

- 締結要素（ボルト・ナット）に関する保全
- 伝達系機械要素（転がり軸受、歯車等、Vベルト、チェーン）の保全
- 油圧機器の保全
- 密封装置について



指導技法

技能継承と生産性向上のためのOJT指導者育成
(人材育成計画と技能伝承の進め方)

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N16	2023年7月25日(火)、26日(水)	成田キャンパス	10名	11,500円(税込)

日数	2日間(14時間)
時間	9:15~17:00(7時間/日)
使用機器	パソコン、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙、クドバスカード、マーカー
持参品他	筆記用具

申込締切
7月11日

講習内容

本コースでは、生産現場における現場力強化及び技能伝承をめざして、社員に必要な職業能力を、クドバス法を用いたチャート作成により見える化し、育成対象となる社員の保有能力を把握することによって、効果的に人材育成を進める手法を学びます。また、OJTなどの人材育成の現場において、技術・技能を継承する際に必要な、指導法に関する知識と、それに有効なツールである標準作業手順書の作成法を、実習により習得します。

主な内容

- 人材育成計画作成法
 - ・必要な職業能力の見える化（クドバスチャート作成実習）
 - ・能力マップを用いた社員に不足する技術と技能の抽出、継承の優先順位などの分析
- 技術・技能の指導法と標準作業手順書
 - ・技術知識の指導と、技能指導の違い
 - ・技能継承における標準作業手順書の役割
 - ・動画撮影とインタビューに基づく、作業の急所抽出と標準作業手順書の作成実習

能力マップによる社員の保有能力分析例
(5:よくできる ⇄ 1:まだできない)

能力項目リスト	ベテラン 来年定年	中堅 11年勤務	新人 入社1年	平均
平やすりで曲面切削が出来る	5	3	1	3
狭い部分の平面切削が出来る	5	3	1	3
基準面に直角な平面切削が出来る	5	4	1	3.3
角部の面取り切削が出来る	5	4	2	3.7
平面切削が出来る	5	3	1	3
ヤスリの種類と用途を知っている	5	4	1	3.3
赤当たりについて知っている	5	4	1	3.7
ヤスリの手入れが出来る	5	3	1	2.7
工具の手入れが大切だと知っている	5	3	1	3
金数を使うことが出来る	5	2	1	2.7

早く継承しないと来年以降、
会社の技術が失われる！

※下記の施設へFAXにてお申し込みください。

FAX : 043-248-5072 (TEL : 043-242-4192)

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様あて（個人の方は申込者様あて）に送付いたします。
 なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

通信欄 (受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※3)、連絡通信事項を記入してください。)

①ホームページ ②セミナーパンフレット ③FAXによる広報 ④ポスター ⑤他の団体からの紹介 ⑥その他（ ）

1. コース開催の3週間前の時点で、受講申込み者が最小開催人数に満たない場合は、誠に勝手ながら当該コースを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

3. ※1 受講区分が「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

4. ※2 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

5. ※3 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)

(注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

6. 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。

☐希望する ☐希望しない